

市民オンブズ岡崎

ホームページ

<https://onbuds-okazaki.org/>

NO.130

岡崎市竜美中 2-1-8 天野法律事務所内
「市民オンブズ岡崎」

TEL(0564)53-7857 FAX53-8038

Email m039asihara@yahoo.co.jp

郵便振替 00870-0-91440 「市民オンブズ岡崎」

発行 2023. 3. 13

2023年度総会を行います

兼ね4月例会を行います

りぶらが4月中満室のため、4月総会兼例会の会場を

竜美丘会館 集会室 福寿で行います。間違いのないよう

にお願いいたします。

4月4日（火）PM7時00分～です。

総会では

2022年度会計決算報告、総括、2023年度役員人事承認、活動方針、予算案を審議します。

4月例会では

いろいろな情報共有をしたいと思います。

会議室での注意

コロナウイルス感染防止のため、

- ① 熱がある方は参加をご遠慮ください。開館入り口に検温機があります。
- ② マスクの着用をお願いします。
- ③ 会議室外に消毒液が用意してあると思いますので、消毒をお願いします。

地方議会における統一教会関連の調査 情報公開制度の後退への抗議を行いました。

全国市民オンブズマン連絡会議事務局から呼びかけ。

1. 行動の呼びかけ

①地方議会における統一教会関連の調査

★統一地方選前までに各地の都道府県議会、可能であれば、県庁所在都市議会や地元議会を対象とした「会派の各議員の旧統一教会関係の支出の有無」の調査をします。

議会の会派宛に送付し、可能であれば回答結果を各地で集約してください。

各議会に送付したら、全国事務局までご連絡下さい。

②情報公開制度の後退についての抗議

・横浜市が来年4月から、電磁的記録開示をCD実費+ページ1枚につき10円を取る条例改正を22/12/23に行いました。横浜市の動きは情報のデジタル化に逆行するばかりか、その全国への拡大は情報公開制度の後退をもたらします。

★こうした動きを阻止するため、かながわ市民オンブズマンと全国オンブズ連名で横浜市に23/2/22ごろ抗議声明を出しますが、問題の深刻さを伝えるため、各オンブズでも遅くとも2月中には横浜市宛に抗議文を出してください。

これに呼応するために「市民オンブズ岡崎」も取り組むことにしました。

情報公開制度の後退についての抗議

横浜市の情報公開手数料改定に対する抗議声明

2023年2月8日

市民オンブズ岡崎

今般、「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」の一部改正がなされ、電磁的記録の写しの交付に係る手数料の額が「従量制」とされました（2023年4月1日施行予定）。これは、従前記録媒体の実費相当額のみであった費用に、「1ファイル210円」「1頁10円」の手数料を加算するとするものであり、交付を受ける市民の負担が著しく増大することとなります。

市民オンブズマンは、地方公共団体等の不正・不当な行為の監視、是正の活動を行い、これまで談合事件等多くの成果を上げてきましたが、これらの活動に不可欠なのが情報公開請求による行政文書の入手です。

こんにちでは、行政文書につき、国は電子データで作成・取得し、これを正本として保存・管理することを原則としており、地方公共団体においても電子データ化が進んでいます。これにより、行政文書の写しの交付に要するコストは飛躍的に低減し、市民が大量の情報を少ない負担で入手しうる環境が整ってきています。

しかるに、今般の横浜市の条例改正は、これに逆行し、複写の過程で頁ごとのスキャン等の作業を要しない場合にまで「1頁10円」の手数料を徴収するものであって当該事務に要する経費が勘案されるべき手数料の趣旨にも反し、市民の情報取得に過大な障壁を設ける全国的にも類を見ない悪条例であると考えます。

他の自治体への悪影響が波及する危惧を持っています。よって、横浜市に対し、上掲条例手数料規定の撤回を求めます。

以上

質 問 状

殿

令和5年 2月20日

市民オンブズ岡崎事務局（担当 渡邊）

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、市民オンブズ岡崎は全国オンブズマンの呼びかけに応じ、現在、旧統一教会の関連団体の活動に対する政務活動費の支出の有無を調査しています。

つきましては、別紙「統一教会関連団体リスト」記載の各団体について、貴会派所属の各議員が各団体の活動に資金を出したり、あるいは各団体と接触するにあたり、これまでに政務活動費を支出したことがあるか否か、ある場合にはいつごろ、どのような形で政務活動費を支出したのかを別添の回答書にてご回答ください。

別添の回答書記載の各議員について、「支出の有無」欄に「○」か「×」をご記入の上、補足説明がある場合（支出の時期、使途、目的等）には「備考」欄にご記入ください。

ご多用のところ恐縮ですが、令和5年 3月20日までに事務局宛に別添の回答書をご返送くださいますようお願いいたします。

ご不明な点等がございましたら、
(渡邊)までご連絡ください。

敬具

2/4 学習会報告

2月4日（土）10時から竜美丘会館で「こども発達センター建設工事から見る PFI の問題点」についての学習会を行いました。

講師の桑子隆信さんは、名古屋で「住民が主体のまちづくり」をコンセプトに設計監理をされているそうです。

参加者は少なかったけれど、中身の濃い学習会となりました。

まず、こども発達センター建設工事というものがどういうものなのかの説明からです。

こども発達センター等整備事業は PFI 事業として 57 億円余りで酒部建設を主とする特別目的会社（SPC）の「岡崎ウェルフェアサポート株式会社」が受注しました。

「岡崎ウェルフェアサポート株式会社」は酒部建設（株）、（株）西井都市建設設計事務所、社会福祉法人岡崎市社会福祉事業団（100%岡崎市出資）、一般社団法人岡崎パブリックサービス（100%岡崎市出資）、（株）大林組、サンエイ（株）がそれぞれ出資して作られた会社です。事務所は酒部建設にあります。

こども発達センターは岡崎市が所有する複合施設で、「こども発達相談センター」の運営は岡崎市が、医療センターは岡崎市民病院が、支援センターは岡崎市福祉事業団が、その他全体の維持管理業務をSPCである「岡崎ウェルフェアサポート株式会社」がやっています。

(私の理解では、PFI 事業とは、そもそも公共団体が持ち合わせていないノウハウを用いることで、安価に建設ができ、合理化された長期の運営によって収益性が見込まれることから民間企業の参入を図るものと理解していました。そのことから公共団体の支出を抑えられるということで、大型工事では国が推奨しています。)

こども発達センターは1974年に「総合福祉センター」して開設され、1980年に「福祉の村」に改称されました。2010年民営化の方針が示され、2015年6月19日プロポーザル方式により前記SPCに随意契約を行いました。2016年1月から新築部分の建設工事が、その後既存の「こども発達センター」および「新友愛の家」の改修が行われ、2017年から「こども発達センター」として供用が開始されました。

ところが先にみたように運営主体が複数にわたっていて、メリットを生むとも思えない事業になっているように思えました。建設は建設のみで工事発注し、運営はそれぞれの運営主体が行えばよいのであり、維持管理を一括してメンテナンス会社にさせればよいように思えました。

さて、その初めの事業である「こども発達センター建設工事」でおかしなことが行われました。ここの地盤はゆるく、基礎工事に於いて地盤に杭をつけるのですが、電柱のようなストレート杭では横揺れ等の強度が保てないということでしょう。節つき杭を71本打つことにしました。節つき杭は土壌との接地面が増し、摩擦力が大きくなるので強度を増すと期待されたのです。

ところが、施設の安全性を担保する基礎の杭11本の先端をカットオフして工事を進めてしまいました。(一般的な基礎工事で、上面をカットオフすることは国土交通省もやむを得ない場合、強度に影響のないことが前提ですが、認めています。先端をカットオフする工事は前例がなく、強度の保障がありません。)さらに、その施工事実を隠蔽し、すべての杭を既定の9m打ち込んだと施工記録に記載していました。

2018年に第3者から岡崎市建築指導課に先端をカットしている写真も添付された通報により不正が発覚しました。基礎杭の先端をカットする場合の構造計算はありません。さらに、工事における協議記録もなく、施工管理する設計事務所と打ち合わせ記録もありません。岡崎市との協議もありません。竣工図の記載も先端カットなしのままということです。

ずさんな工事施工、そして工事監理する事業者が、事業を行う特別目的会社の一員となっていて、建設会社と持ちつ持たれつの関係で適正な管理ができなかったこと、施工発注したのはPFI事業を受け持った特別目的会社の「岡崎ウェルフェアサポート株式会社」ということで、本来の所有権者である岡崎市の監督もずさんになっていた結果だろうということでした。

PFI事業はほかにも、げんき館工事運営、男川浄水道建設工事と維持管理、火葬場改修運営、竜北総合グラウンド改修運営、市立小中学校空調システム設置運営、西部学校給食センター建設運営などがあるそうです。これらの事業についても市民の関心が求められます。

まず必要なことは、市民が求める情報の透明性を保障すること、施工業者と利害を有しない第

3者による工事監理にすること、岡崎市がしっかり工事監督をすることだと言っていました。

市民として、この問題をどのように市民レベルで共有し、透明性のある情報公開に改めさせ、岡崎市により市民目線に沿う事業を行うよう求めていけばよいのか考えさせられるものでした。



【2】節付杭材～先端側
カットオフ★写真

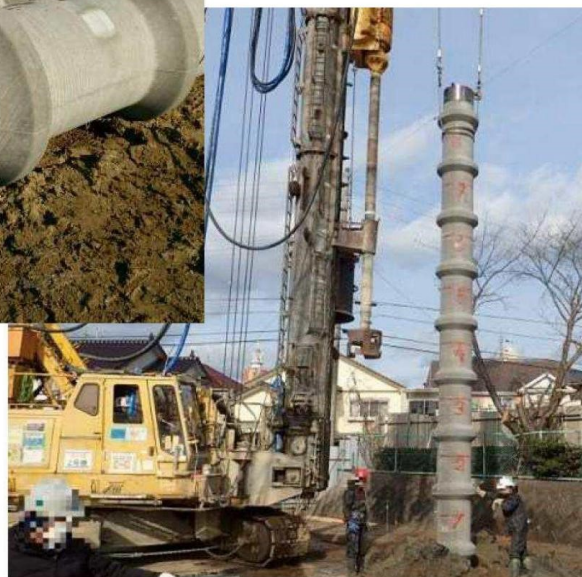
岡崎市こども発達センター新築工事・基礎杭工事
【71本の内、11本の杭先端をカット(切断)】



【3】節付杭先端側カットオフ
施工★写真～通報者提供～

【4】基礎杭 埋め込み施工 写真

【1】節付杭 写真(参考)



岡崎市こども発達センター新築工事・基礎杭工事

